

# ■博士学位論文公開発表会■

## 消化管の恒常性維持における 食物繊維の新たな役割に関する研究

Studies on novel roles of dietary fibers for intestinal homeostasis

食物繊維は、人の小腸(上部消化管)では分解されず、大腸に共生する腸内細菌によって代謝され、種々の生理効果を発揮することが知られている。しかしながら、消化管炎症における食物繊維摂取の役割はいまだ不明な点が多く、さらに食物繊維自体がどのように消化管機能に影響するかはほとんど知られていない。本研究では、食物繊維の腸内細菌代謝物である短鎖脂肪酸および食物繊維そのものが、異なる機構により消化管の炎症を軽減し、消化管の恒常性維持に寄与していることを明らかにした。

発表者: Tran Van Hung(生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻)

日時: 2017年7月25日(火)13:00-14:00

場所: 生物生産学部 C314講義室

※本発表会は、生物圏科学研究科の共同セミナーとして認められます

連絡先: 鈴木 卓弥(内線7984) takuya@hiroshima-u.ac.jp